

缶サット甲子園 2018 概要資料

和歌山県立海南高等学校
映画研究部

「缶サットを映像ツールとして活用してみよう」

缶サットのミッション

今回の海南高校の缶サットの挑戦は、私たち映画研究部 1 年生でおこないます。

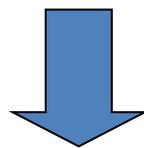
映画研究部は、映画を研究するクラブではありません。もちろん、科学部のように科学を研究するクラブでもありません。NHK 杯全国高校放送コンテストや全国高等学校総合文化祭の放送部門にも出場したことがある放送関係のクラブです。今年も先輩方は、今年の6月におこなわれたNHK 杯高校放送コンテスト和歌山大会で優勝して2部門全国大会に出ます。

この映画研究部が今回のミッションがこのような目標になった理由は、映画研究部で360度カメラを購入したので、缶サットに搭載すれば、何かおもしろい映像が取れるのではないかと考えたからです。

空から見た地域がどのような風景になって見えるかがとても興味があるからです。

そして缶サットのミッションとして、

「缶サットを映像ツールとして活用してみよう」



具体的には

「360度カメラを用いた映像を使って、缶サットから見えるであろう地域の紹介をしたい」

そのために、360度カメラを搭載する向きやそのカメラを入れる機体について考えました。

やはり、映像を撮影することが最優先であるので、透明な機体にし、簡単に手に入るペットボトルを使った機体にし、高度などの情報も必要だと考えて、市販の高度センサーを搭載することにしました。映像を撮影するために、ゆるやかな落下でよいので、パラシュートで落下させることにしました。

今回の缶サットの特徴

(360度カメラ搭載缶サット)

- ◇ 本体の外側は透明ペットボトル
- ◇ 360度カメラを下向きに搭載
- ◇ 高度を知るために、市販のセンサーを搭載
- ◇ パラシュートで落下



缶サットで撮影された映像を使って

缶サットで撮影された映像を使って、空から見た地域の風景とともに地域の様子を紹介します。

缶サットから見えるであろう観光スポットの案内ができればと考え、缶サットを使って撮影した映像と事前に撮影した地上の映像を用いて、**地域のPR映像**ができるのではないかと考えました。

このように**缶サットを映像ツールとする観光案内**が何かに利用できるのではないかと考えています。

期待される内容

ミッションで期待される内容は、無事に打ち上がり、360度カメラでの撮影がうまくいくかどうかにかかっています。うまくいけば、加太コスモパーク上空からのおもしろい動画が撮影されると考えています。

現在製作している自作ロケットも一部を透明にして打ち上げからの様子も撮影できれば、さらにおもしろい映像になるのではなると思っています。

心配なこととして、ロケットの打ち上げの加速度や缶サットの放出時の加速度や落下時の衝撃に缶サット内部の360度カメラが耐えることができるかどうかです。無事耐えることができれば、映像が撮影できると考えています。

この映像を使った加太コスモパークの周辺地域の観光スポットの簡単な紹介を行いたいと思います。